



公共交通事故被害者等支援フォーラムを 開催しました

近畿運輸局・神戸運輸監視部・沖繩総合事務局の
会場を繋いで初めての合同WEBフォーラム

安全意識の啓発や、公共交通事業者による被害者等支援計画策定の意義を改めて認識していただくことを目的に、令和2年11月25日に近畿運輸局・神戸運輸監視部・沖繩総合事務局の会場を繋いで初めての合同WEBフォーラムを開催しました。

当日は、1985年の日航機墜落事故のご遺族であり、「8・12連絡会」事務局長の美谷島邦子氏より「安全の鐘を鳴ら



フォーラムの様子

し続けて」というテーマで、当時の状況や被害者・遺族の心情、求めていることについてご講演いただきました。また、上智大学グリーンフケア研究所名誉所長の高木慶子氏より「運輸事業者は事故を起こす可能性をもっている」、「悲嘆について」という2つのテーマで、交通事業者が惹起する事故の被害者等家族の心理状態の変化に寄り添い支援するグリーンフケアの観点からご講演いただきました。

フォーラムには航空・旅客船・鉄道・バスの関係者などから参加があり、受講者は講演内容に真剣に耳を傾けている様子でした。

今後も沖繩総合事務局では、より多くの公共交通事業者に被害者等支援に取り組んでもらえるよう今後も呼び掛けていきます。

お問合せ先
運輸部 企画室

☎098-866-11812



バリアフリー教室inフェリー海邦!!

沖繩総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降バリアフリー教室を開催しています。

今年度は、11月16日に一般旅客定期航路事業者の職員等を対象に、久米商船(株)のご協力のもと、去年新たに造船された「フェリー海邦」においてバリアフリー教室を開催しました。

家族や友人と同伴する高齢者や障がい者等への、旅客船会社など観光に従事する職員のちょっとした配慮が沖繩観光に寄与することや、障がい者とのコミュニケーション方法及び介助方法などについて座学を行った後、車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を行いました。

沖繩総合事務局としましては、今後も



座学



車いす体験



アイマスク体験



高齢者疑似体験

「バリアフリー教室」の開催等を通じて、より多くのみなさまにバリアフリー化社会の実現についての理解を深めていただくとともに、「心のバリアフリー」を積極的に推進していきたいと思っております。

お問合せ先
運輸部 企画室

☎098-866-11812



公共交通事故被害者支援の内容

